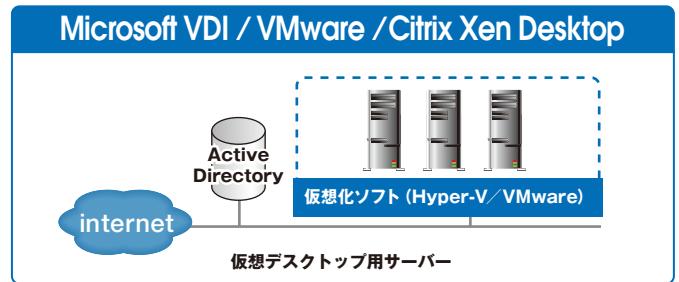


仮想デスクトップ認証

ICカード / USBトークン スマートカードログオン認証 for 仮想デスクトップ



仮想デスクトップを社内あらゆる環境のPCから利用したい場合、ICカードによるスマートカードログオン認証が堅牢で相性が良いです。病院や大学などのPCを共有する利用環境では、ICカードで自分のデスクトップが呼び出せる利用はたいへん便利です。

仮想デスクトップにスマートカードログオンクライアントソフトウェア不要

仮想デスクトップのユーザ認証は、スマートカードログオン認証が最適です。クライアント環境に特別なソフトウェアを必要とせず、安全でWindows親和性の高いスムーズな運用をご提供します。仮想デスクトップPoolと併設でAD/メインサービス / AD CSサービス仮想サーバを設置して利用者を認証します。

仮想デスクトップログオン証明書はAD CSサービスで簡単取得

仮想デスクトップの認証用スマートカードログオン証明書は、仮想デスクトップPool併設Active Directory証明書サービス(AD CSサービス)サーバから取得します。証明書を取得したいユーザは、初回だけIDパスワードでログインし、AD CSサービスサーバに自己申請で証明書を取得します。この際、空のICカード内部で鍵を生成し証明書を取得するので、システム管理者には空のICカード配布で業務運用することができシステム負担を軽減します。



Microsoft Windows XP / Vista / 7 でドライバの自動インストールを実現

Windows Vista ではミドルウェア・ドライバがOSに搭載済みであり、「Pentio PKI IC Card 3300C / Pentio PKI USB Token 3300」をPCに挿すだけですぐに利用が可能な自動インストールを実現しています。



スマートカードログオン操作は簡便

スマートカードログオンの操作は、ICカードをWindowsPCに挿入するだけの簡便な操作です。ICカード内部のスマートカードログオン証明書が自動的にログオン対象を認識し、利用者にPIN操作を求めてきます。利用者は要求に従いPIN入力するだけです。離席する場合はICカードを抜き取ればログオフします。



スマートカードとICカードの違い

日本に於いては、接触型ICチップを搭載しているカードをICカード、非接触などのチップを搭載しているFeliCaや住基ネットカードなどを非接触カード、これら全体をスマートカードと呼ぶことが一般的である。国際的にはスマートカードとは、ICチップを搭載するICカードの意味で使われる事が多い。認証分野におけるスマートカードログオンとは、ICカードログオンが最も近いイメージである。

スマートカードログオンは、社員証カードログオン

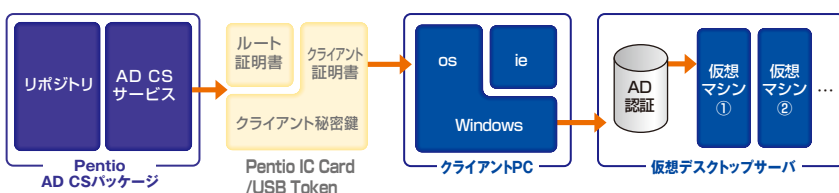
企業内におけるスマートカードは、社員証として利用されるカードにICチップを搭載して利用することが多い。日本企業におけるスマートカードログオンとは、「ICチップ搭載の社員証でのPCログオン利用」の事を指す。

社員証カードは、FeliCaハイブリッドカードを

ペンティオにおいては、社員証としてご利用いただけるICカードをラインナップしています。Pentio PKI IC Card 2600FC / 3300FC など、FeliCaハイブリッドICカードをお勧めします。FeliCaハイブリッドカードの利用で、オフィス入退室、出勤管理、社員食堂マネー、電子ロッカー、コピー機利用など多くのオフィス機器がFeliCaカードで運用できます。



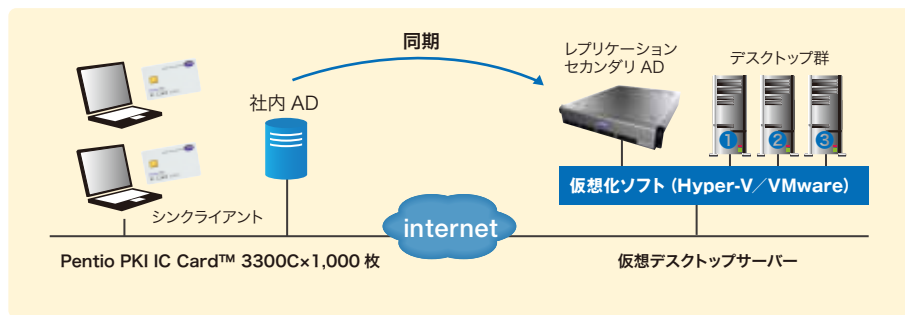
▶ Pentio PKI IC Card / USB Token + 仮想デスクトップ



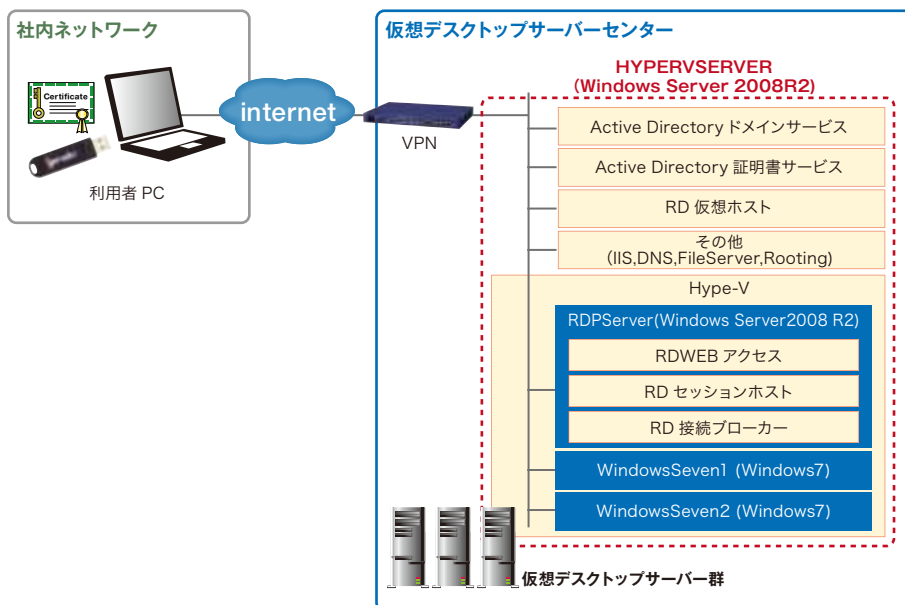
※あくまでも概念構成図になります。

商品パッケージ

仮想デスクトップ環境に Pentio AD CS 認証サーバパッケージと Pentio PKI IC Card™ 3300C を導入するプラン



システム構成例



システム価格

必要製品群	製品名	数量	標準料金
ICカード	Pentio PKI IC Card™ 3300C	1000枚	5,500,000円
ICカードリーダー	ICカードリーダー ご参考: Gemalto USB-TR ¥2,980/個		別途ご提供
AD CS パッケージ ※1	Microsoft AD CS サービスパッケージ レプリケーション セカンダリAD AD CS サービス		2,750,000円
	合計		8,250,000円

※1 別途、設置、保守費用がかかります。

デスクトップの仮想化メリット

デスクトップの仮想化は、データセンターや企業内の統合サーバに、複数のデスクトップ環境を仮想的な大規模サーバに構築利用する形態のことです。VMware View Manager や Microsoft VDI を使用して、運用ポリシーを容易に設定できます。アプリケーションの仮想化が容易になり、アプリケーション展開のコストと時間をさらに削減できます。これにより、企業は、高可用性、災害対策、ビジネス継続性などのエンタープライズ機能をデスクトップにまで拡張することで、ヘルプデスクへの問い合わせを低減し、共通プラットフォーム上で標準化してデスクトップを管理できます。

在宅勤務者や臨時社員への安全なリモートアクセスの提供

仮想デスクトップは、システム管理者が共通管理し、エンドユーザーには共通の高い使用環境を提供できます。エンドユーザーは、シンククライアントなど多くのデバイスからデスクトップにアクセスできます。アクセス管理用のセキュリティポリシーの最適化により、企業のファイアウォールが機密データを安全に保護します。さらに、利用者が IC カード / USB トークンを配布利用することにより、契約社員、派遣社員などの関係者に企業の情報やアプリケーションへの一時的なアクセスを制御することができます。また外部関係者との共同作業が向上しビジネス効率化できます。同時に、データ漏洩リスクを低減できます。

仮想デスクトップの主なメリット

- デスクトップ利用が広範容易
- 設備・構築・管理コスト削減
- モビリティ向上
- セキュリティ向上



ペンティオ株式会社

[PKIソリューション事業部]

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-4 久保ビル3F

Tel.03-5919-0971 Fax.03-5919-0980 <http://www.pentio.com/>

2010年8月